

# 華麗な技世界に披露



男子種目別の鉄棒で銅メダルを獲得し、表彰式で声援に応える米田功選手＝屋内ホール（共同）

## 鉄棒 米田銅

【アテネ二十四日共同】ひのき舞台で華麗に舞った。つま先までピンと伸びた足、曲がらないひじ。美しい技を世界にアピールした。「自分の演技ができた」。体操の男子種目別で二十三日、平行棒で銀メダルを獲得した富田洋之選手(23)と鉄棒で銅メダルに輝いた米田功選手(27)。初五輪の二人は満足した表情で表彰台に立った。

クールなほにかみ屋がちよっぴり白い歯を見せた。富田選手の平行棒。着地を決めると両手でガッツポーズ。「最高の演技。メダルも取れて良かった」と喜びを語った。

## 平行棒 富田銀



男子種目別の鉄棒で銅メダルを獲得し、表彰式で声援に応える米田功選手＝屋内ホール（共同）

種目別のあん馬は失敗し、つり輪は4位。だが「丁寧やれば結果が出る」と自信を見せ「もうちよつとで金かなと思った」。

種目別最後の鉄棒。個人総合では落下した米田選手は「今日は着地以外は完ぺきにできた」とほおをゆるませた。

ひそかにメダルを狙っていた個人総合。悔しさを紛らわすためにアテネ近郊のエーゲ海に息抜きに行った。日焼けした顔で「気持ちの切り替えができた」とリラックスした様子。

あん馬で3位の鹿島丈博選手(24)と富田選手は、同じ大阪市の体操クラブの後輩。「2人がメダルを取ったからぼくも攻めていった」。

五輪で五つの金メダルを取っている体操のチームリーダー塚原光男さん(56)は「プレッシャーの中でよくやった。体操ニッポンが新たなスタートを切ったオリンピック。4年後も期待できる」と満面の笑みだった。